

毛糸のおっぱいプロジェクト

ニュースレター VOL.7

2022年10月発行 事務局/とも子助産院
仙台市泉区野村字野村 95-6 022-772-5960



編み手さんが住む、気仙沼のいま。

2022年7月、コロナ第6波と7波の谷間に、1年ぶりに、編み手さんの顔を見に行ってきました。

編み手さんは、「みんな後期高齢者だよ～」というものの、健康センターの体操会へ通ったり、庭手入れや、大好きな編み物をして、日々、お元気に暮らしておられるようでした。



気仙沼は、びっくりするくらい、きれいになっていました。これまでの10年は、大型トラックと重機の土埃だらけでいつも工事中でしたが、今回は平日にもかかわらず、観光バスも散見し、違う町に来たみたいでした。NHKの朝ドラ「おかえりモネ」効果でしょうか。



仙台からは、岩手の一関経由で、4時間はゆうにかかっていたのに、三陸道が開通して、びゅ〜っと、2時間で到着してしまいました。



大谷海岸駅

特記すべきは、道の駅の充実ぶり。海のもの・畑のもの、手作り品の数々、買い物楽しかったです。車いっぱい、おいしいものをいっぱい詰め込んで、仙台に戻ってきました。買い物だけでもまた行きたいです。

気仙沼市の観光キャラクター「ホヤぼーや」が大島でも出迎えてくれました



対岸に眺めるだけだった大島にも、初めて上陸してきました。きれいな白いつり橋、気仙沼大橋が開通したので、海の上の通過は数分だけでした。3.11. 当時、「支援物資をたくさんいただいたけど、長期保存ばかり。野菜が食べたい。」との声が聞こえ、「大島の妊婦と子供たちに、生鮮食品を届けたい。」という取り組みがあったのを思い出しました。輸送手段がなく、結構な難事だった印象があります。いっぱい電話したり、メールしたり、できそうなことを手伝いましたが、結局、それが達成できたのかどうだったのか、今となっては、いろんなことがありすぎて、思い出せません……。ごちゃごちゃだった日々の記憶のかけらになっています。天候が荒れても、救急車も走れる。橋ってすごい。



地球温暖化や、いろんな要因が重なる水産業の不振が、海の街、三陸の人口流失を止められないと聞きます。漁師御殿が立ち並んだ、かつての気仙沼の華やかさには、到底及びませんが、仮設住宅はなくなり、町にはスーパーマーケットもオープン。平穏な日常に戻ってきているように見えます。

毛糸のおっぱい「あむあむおっぱい」で、新米ママさんたちに、授乳テクニックをお伝えするとき、これを作った編み手さんのことや、防災のことも、一緒にお話しただけならなあと思います。

母乳は、最強の災害対策です。「赤ちゃんを抱えて、もしものときは、どうするか？どんな備えが必要か？」生まれるまえから、妊婦さんたちに、お話しするきっかけとして、使ってほしいなあと思っています。



東北の言葉で、曾祖母のことを、尊敬をこめて、「おっぱいちゃん・おっぱい様」といいます。私たちのお届けする毛糸の乳房模型は、赤ちゃんがアムっと大きなお口で、乳房をとらえるしぐさや、気仙沼のおっぱい様が編んでいるよ、という意味を込めて、「あむあむおっぱい」という名前にしています。

毛糸のおっぱいプロジェクトが、各地で出店させていただいていた学会や学習会が、コロナ禍で軒並みオンラインになってしまい、販路はネット通販のみになってしまいました。それでも、助産学校や産科の保健指導の現場で支持され、注文が絶えないのが、ありがたいです。

今後とも、ご支援いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

とも子助産院 伊藤朋子

ざっくり これまでの 毛糸のおっぱいプロジェクト

プロジェクトのこれまで

気仙沼のこれまで

- 2011年3月 東日本大震災発生
- 2011年8月 みやぎジョネットと連携して気仙沼の支援に訪れた際に編み手さんたちと出会う
手仕事をしながらおしゃべりできるサロンを開催
少しでも収入になればとプロジェクト始動
- 2011年9月 「あむあむおっぴ」販売開始
- 2012年1月 ポケットサイズの「ミニおっぴ」販売開始
- 2012年11月 「あむあむちゃん」販売開始
- 2013年2月 色と大きさを統一した「定番カラー：ナチュラルピンク」販売
- 2014年1月 「ミニストラップ」販売開始
- 2017年4月 税込の金額へ価格改定
- 2022年9月 12年目を迎えます

- 2011年 震災で15,815棟の住宅が被災
- 2011年8月 約8,000人が仮設住宅へ
- 2011年12月に避難所解消
- 2014年から公営住宅がではじめる
(すべて完成したのは2017年)
- 2020年3月 仮設住宅の最後の住民が退去
- 2021年3月 三陸沿岸の復興道路が全区間開通

2015年9月11日東北豪雨でとも子助産院は70cmの床上浸水
おっぴやのぼりなどのグッズも水没



試作品もたくさん!



初期のあむあむちゃんとおっぴたち

こちらは2022年 編み手さんも配色を楽しみながら作ってくださっています。



支援物資の毛糸を使っていたので色もさまざま。



らいんなっぷ

あむあむおっぴ	2,200円
ミニおっぴ	1,320円
あむあむちゃん	8,800円
おっぴストラップ	550円
送料(全国一律)	800円



ご注文方法

「毛糸のおっぱいプロジェクト」
ホームページからご注文いただけます。
<http://www.tomo-j.jp/keitonooppai>



委託販売しませんか?

イベント・学習会などでおっぴの販売をご希望の方は事務局へお問い合わせください。
(1回につき30個以上預かっていただき、売り上げの20%を委託料としてお支払いいたします。)

BASE販売サイトでは
クレジットカードもご利用いただけます。
<https://keitonoopp.official.ec/>

